

ベトナム・タイムズ

代表: 朝妻小津枝 080 - 5070 - 4707 / ベトナム 091-515-3640 (Ms. Thuy)

E-mail vietnamtimes@hotmail.co.jp <http://vietnamtimes.jp>

〒112 - 0014 東京都文京区関口 1 - 4 - 10 (株)ISC 気付)

— 10月11日(金) —

[政治・政策]

TT(1) 『米国との

原子力協定に調印』

ミン外相と米国のケリー国務長官は10日、原子力協定に調印した。ケリー長官は、「同協定の調印により、米国のさまざまな産業に大きな機会が開かれるだろう。この協力には非常に大きな役割がある」と語り、「米国企業がベトナムの原子力市場に進出する条件が整うことになった」と期待を示した。ベトナムは、急速な経済成長に対応するため、ニントゥアン省でベトナム初の原子力発電所を建設する予定で、2014年着工と20年の完成を目指し、ロシアとの協力を加速させている。2カ所目の原発は、日本が受注しており、2024~25年の稼働を計画している。ベトナムは、アジアでは中国に次ぐ2番目のエネルギー市場と評価されており、ケリー長官はベトナムのエネルギー市場規模を「2030年には500億ドル規模まで発展することが期待できる」とみているという。現地紙では、「米国はベトナムとの経済や安全保障協力を推進し、アジアにおける中国の影響力を抑制すべく、バランスのとれた戦略を図っている」などと報じている。

T0(2) **トンキン湾に関するベトナムと中国の専門家レベルの第4回交渉**: 中国・北京で7~9日実施 / 第5回交渉は来年上半年にベトナムで開催

K(3) **2015年までに工業都市化を目指す(バクニン省)**: 2015年までの経済成長率を年平均13% & 2020年までに1人あたりのGDP1億4620万ドン目標 / ①GDPにおける割合を工業73.2%・サービス業23%・農業3.8% ②輸出額200億ドル達成などを目指す

[経済]

T0(4) **タンフー工業団地(ドンナイ省)**: インフラ使用料を5年間免除する新方針を打ち出す

T0(5) **不動産大手ビンググループ**: 資金補充のためクレディスイス、メイバンク・インベストメント・バンク、ドイツ銀行などの外国銀行と1億ドルの融資契約に調印

T0(6) **エクシムバンクとサコムバンク合併のウワサに投資家も苦慮**: エクシムバンクは経営陣の入れ替えが進む / 両行の公式声明では「合併が適切かつ有益と判断した時のみ合併が行われる」

K(7) 『EVNへの融資が

118兆ドン超に』

ベトナム国家銀行(中央銀行)信用局はこのほど、各銀行によるベトナム電力グループ(EVN)への融資額が2013年7月31日時点で、計118兆8400億ドンに達したとする最新統計を発表した。中でも、国営銀行4行の占める割合が大きく、特にソンラー水力発電所プロジェクトに対する融資だけで、4行の融資額は17兆5000億ドンにのぼるといふ。これは、同プロジェクトの総投資額の50%に相当する。また、ライチャウ水力発電所プロジェクトでも、各国営銀行の融資額は計20兆5000億ドンに達しているという。「2011~20年国家電力開発マスタープラン及び30年までのビジョン」によれば、2020年までの電力業界の資金需要は約929兆7000億ドン(約488億ドル)にのぼると推計しており、毎年49億ドル近い資金が必要としている。

T0(8) **コットン車輸入**: 1~9月約43万ト(8億6400万ドル) → 通年で前年比約15%増の58万~60万ト見通し / ベトナムが世界のコットン輸入国の上位5カ国に → ベトナムに多くコットンを輸出している国は米国、印、豪、パキスタン、中国、インドネシアなど(米国が全体の43.5%を占める)

T0(9) **ロシア everest 社がニントゥアン省でウオッカ製造へ**

[社会]

K(10) **電力の十分な提供に尽力(ベトナム電力グループ)**: 来年の電力生産・供給に向けて万全な準備を進める / 特にギソン火力発電所2号機とビンタン第2火力発電所1号機の稼働を急ぐ & ビンタン第4火力発電所やタイビン火力発電所の起工 & ビンタン~ソンマイ間500kV送電線及び変電所工事の年内完成など

[その他]

P(11) **ロシア軍事技術協力局のピアケスラフ・カルロビッチ・ジルカン局長が来越**: 軍事技術協力に関する越露政府合同委員会の第15回セッション開催 → 第14回セッション後の二国間軍事技術協力の成果をともに評価 & 両国の友好協力関係の発展を確認

K(12) **国会議事堂建設工事**: 来年8月の使用を目指す / 建設省は各施工業者に工事の品質確保とコスト削減と工期短縮を指示

D:ダウトウ KS:キンテーサイゴン SG:サイゴンザイフオン K:トバオキテー P:ベトナムプラス TT:トゥオイフェ VN:VNエコミー VE:VNエクスプレス T0:その他

本誌はベトナム主要紙をそのまま翻訳したものです。記事内容については本紙の責任外になります。

在ベトナム日本国大使館ホームページ <http://www.vn.emb-japan.go.jp>

社団法人ベトナム協会 <http://www.javn.jp>